

漁況予報 いわし

第133号

2006年 1～2月漁期
(2006年1月17日発行)

＝ 概況 ＝

【まいわし】

主要定置網における11月のマイワシ総水揚げ量は、70トンで前年同期の31トンを上回る値となりました。12月に入ると来遊水準が下がり、総水揚げ量は8トン(速報値)となりました。(前年同期2トン)

佐島地区のまき網は、11月、12月とも漁獲はありませんでした。

魚体は、相変わらず0歳魚(2005年級群)中羽マイワシ(15～16cm台)主体での魚種組成となりました。

2005年のマイワシ漁は、主要定置網で500トン、まき網で160トンの計660トンの水揚量でした。これは前年の3分の1程度であり、2年ぶりに再び1,000トンの大台を切っていました。

いずれにせよ、0歳魚主体の漁模様が続きそうですので、2006年もマシラスがどの程度湾内に来遊してくれるかに懸かってくるでしょう。

【かたくちいわし】

主要定置網における11月のカタクチイワシ総水揚げ量は10トンで、昨年同期(290トン)を大きく下回る値となりました。

12月に入っても同様で、未成魚主体の漁模様になったこともあり、水揚げ量は少なく、計35トン(速報値)と昨年同期(116トン)を下回りました。このうち9割は横須賀市大楠地区の小型定置に20日以降に入網したものでした。

佐島地区のまき網は、断続的に餌イワシとして漁獲しましたが、非常に少ない漁獲に終了しました。

2005年のカタクチイワシ漁は、9月までは大型成魚(体長12cm以上)主体に高水準の来遊が続きましたが、10月以降成魚の来遊が切れ、未成魚主体の漁模様になったこともあり水揚げ量は急減しました。結局、主要定置網での水揚量は5,000トンで過去15年間で最高の値でした。

【しらす】

11、12月に入っても、殆ど漁のないまま相模湾のシラス漁は終漁しました。ただし、12月26日頃に沖合い海域からマシラス主体と見られる群れが来遊し、一部の船が表層曳きで漁獲することができました。100kg/統/日前後の漁獲が30日まで続き、禁漁期間に入りました。

2005年のシラス漁は、春漁が前年を大きく上回る平年並みの漁獲量、夏秋漁も8月に好漁期間がありました。このことから、標本船(3統)の漁獲データによれば、年計59トンで、前年の22トンを大きく上回り平年並みの漁獲量で終漁しました。

＝ 予報 ＝

まいわし

今漁期は、中羽イワシ(1歳魚、2005年級群)が漁獲の主体になるでしょう。

今漁期の水揚げ量は、定置網を主体に約15トンと予測されます。

*縦軸：主要定置網+まき網の水揚げ量

かたくちいわし

今漁期は、小型成魚及び大型成魚が漁獲の主体になるでしょう。

今漁期の漁獲量は、約325トンと予測されます。

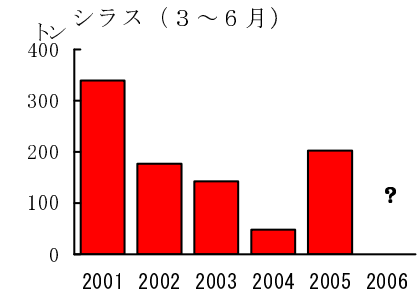
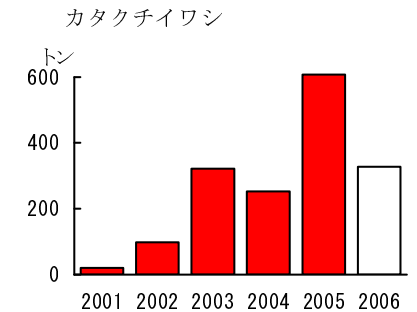
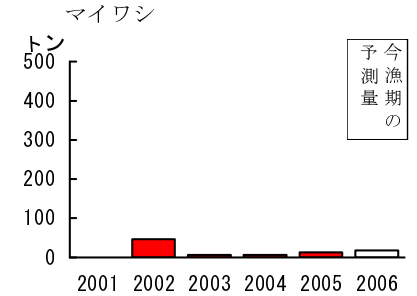
しらす

神奈川県シラス漁業は、1月1日から3月10日まで禁漁です。当センターでは、解禁後の漁況予測のため、しらす船曳網漁業連絡協議会の協力により、禁漁期間中に漁期前調査を実施します。

今回は、小坪地区と江ノ島片瀬地区のしらす漁業許可船を使用させて頂くことになりました。ありがとうございます。次号で経過報告をします。

本年もよろしくお願ひします!

過去5年の1・2月漁期の漁獲量
と今漁期の予測量



神奈川県水産技術センター資源環境部
三浦市三崎町城ヶ島 (046)882-2313